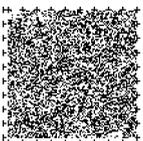




〈おらがむらの相撲大会〉



〈AET による授業〉



# 基本目標3 心豊かな人を育む学びのまち

## 分野別の施策

### 8. 学校教育

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 豊かな心の育成と健康・体力の増進
- (3) 質の高い学校教育の推進
- (4) 小中学校の施設環境の維持向上
- (5) 学校給食の充実

### 9. 青少年健全育成

- (1) 郷土愛の醸成
- (2) 青少年の健全育成
- (3) 地域の大人と子どもたちの交流の場づくり

### 10. 生涯学習

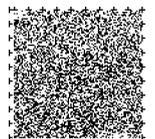
- (1) 生涯学習の推進
- (2) 「人づくり」の支援
- (3) スポーツ・レクリエーションの振興
- (4) 読書に親しめる環境の整備
- (5) 図書館の整備や充実

### 11. 人権・男女共同参画

- (1) 人権啓発の推進
- (2) 男女共同参画を推進する社会の形成

### 12. 多文化共生

- (1) 国際交流活動の支援
- (2) 外国人にやさしいまちづくりの推進



## 8. 学校教育

### 施策目標

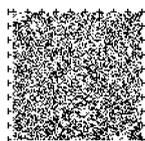
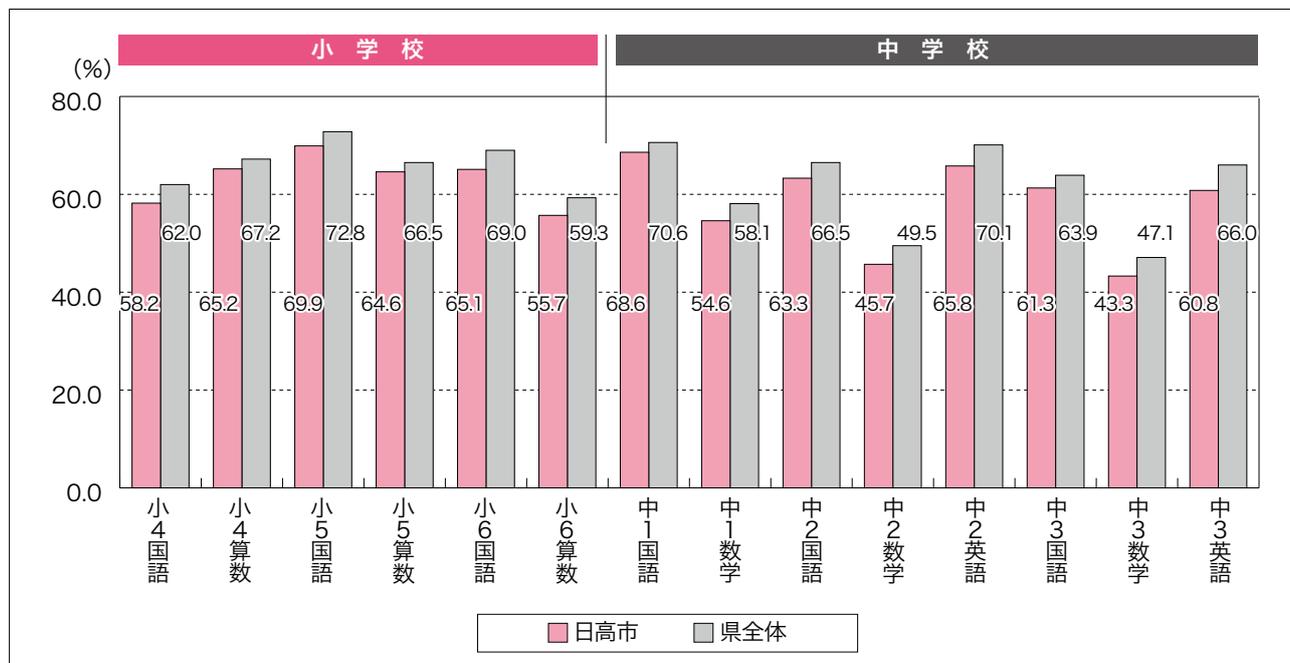
確かな学力、豊かな心、健やかな体、豊かな関わり合いのバランスの取れた児童や生徒を育成します。

### 現状と課題

- ・少子高齢化の進展やグローバル化、高度情報化など、子どもたちを取り巻く社会経済環境は、急速に変化してきています。激しく変化する社会を生き抜いていく子どもたちが、知・徳・体・コミュニケーションの基礎をしっかりと身に付けられるよう、一人一人の「生きる力」を確実に伸ばす教育に取り組んでいく必要があります。
- ・本市では「日高市教育振興基本計画（平成28年度～平成32年度）」を策定し、「志のある人を育み 和と活のあるまちを創る日高教育」を教育ビジョンとして掲げ、「確かな学力と自立する力の育成」をはじめとする7つの施策を展開し、点検・評価をしています。特に平成27年度の学力・学習状況調査の結果から、学力の向上に向けて確実に取り組んでいく必要があります。
- ・グローバル化やICTの発達・普及に伴い、激しく変化する社会に対応することができる高度な知識及び能力を有し、世界的規模で活動できる人材の育成が求められています。また、伝統文化を尊重し、郷土を愛するとともに、他国を尊重し積極的にコミュニケーションを行う国際的な視野や多様な価値観を受容できる力を育むことが必要とされます。
- ・都市化や家族形態の変容、ライフスタイルの多様化などにより人間関係が希薄化しており、家庭・地域で学ぶことの減少などが懸念されるため、学校が家庭や地域と連携して教育を進めていく必要があります。

図表 学力・学習状況調査の平均正答率（平成27年度）

（出典）埼玉県「平成27年度埼玉県学力・学習状況調査」



## 施策の展開

### (1) 確かな学力の育成

- 確かな学力の育成を図るため、各学校に学習支援員などを配置し、児童生徒の個に応じたきめ細かい指導を推進します。
- 各学校で学力向上に向けた取組を行うとともに、家庭との連携を深めながら総合的な学力の向上を推進します。
- 各中学校に英語指導助手（AET）を配置するとともに、小学校段階における英語教育の充実を推進します。
- 情報活用能力の育成を図るとともに、ボランティアや福祉活動などを通じた社会的課題に対応する能力の育成を推進します。

### (2) 豊かな心の育成と健康・体力の増進

- 豊かな心を育むため、体験活動を充実させるとともに、道徳教育や人権教育を推進します。
- いじめや不登校を防止するため、教育相談員やふれあい相談員を配置し、教育上の諸問題についての相談体制の強化、問題解決に取り組むとともに、学校適応指導教室（ユリイカ）における学校復帰への指導や支援を推進します。
- 健やかな体を育成するため、健康の保持、増進や体力の向上を図ります。

### (3) 質の高い学校教育の推進

- 地域に開かれた学校づくりを行うため、学校応援団などの活動の充実により、学校、家庭や地域が一体となった教育を推進します。
- 教職員の資質向上を図るため、専門性の高い講師の招へいを行うなど教職員研修を充実します。
- 児童、生徒の安心安全の確保を図るとともに、学校、家庭や地域が連携した防犯体制の強化を図ります。
- 学習環境の整備と充実を図るため、計画的に学校教材、学校図書やICT環境の整備を行います。

### (4) 小中学校の施設環境の維持向上

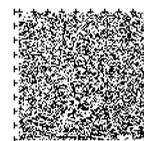
- 安全で快適な学習環境の整備を図るため、既存施設の老朽化対策などを推進します。

### (5) 学校給食の充実

- 学校給食の衛生管理を徹底するとともに、児童生徒が望ましい食習慣を身に付け、生涯にわたる健康づくりの基礎を培うため、食育を推進します。また、地場産野菜を取り入れた給食を提供するとともに、安心して安全な学校給食の充実に努めます。

## 成果指標

成果指標名	単位	指標の算出方法・説明又は出典	実績値	目標値 平成32年度
埼玉県学力学習状況調査の教科に関する調査で県平均を上回る学校数の割合	%	埼玉県学力学習状況調査の教科に関する調査を実施し、県平均を上回った学校数の割合	26.2 (平成27年度)	70
学校適応指導教室在籍児童生徒の学校復帰率	%	適応指導教室在籍児童生徒のうち、年度末に適応指導教室から学校へ復帰できた割合	67 (平成26年度)	70
ソーシャルスキルトレーニング研修会への参加経験率	%	ソーシャルスキルトレーニング研修会への全教員に対する参加経験者数の割合	30.5 (平成26年度)	60
学校給食に地場産の食材を使用した日の割合	%	給食実施日のうち、日高市産や埼玉県産の食材を使用した日の割合	18.9 (平成26年度)	55
負傷事故発生件数	件	小中学校の既存施設（付帯設備を含む）の故障による負傷事故の発生件数	0 (平成26年度)	0



## 9. 青少年健全育成

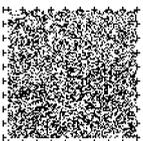
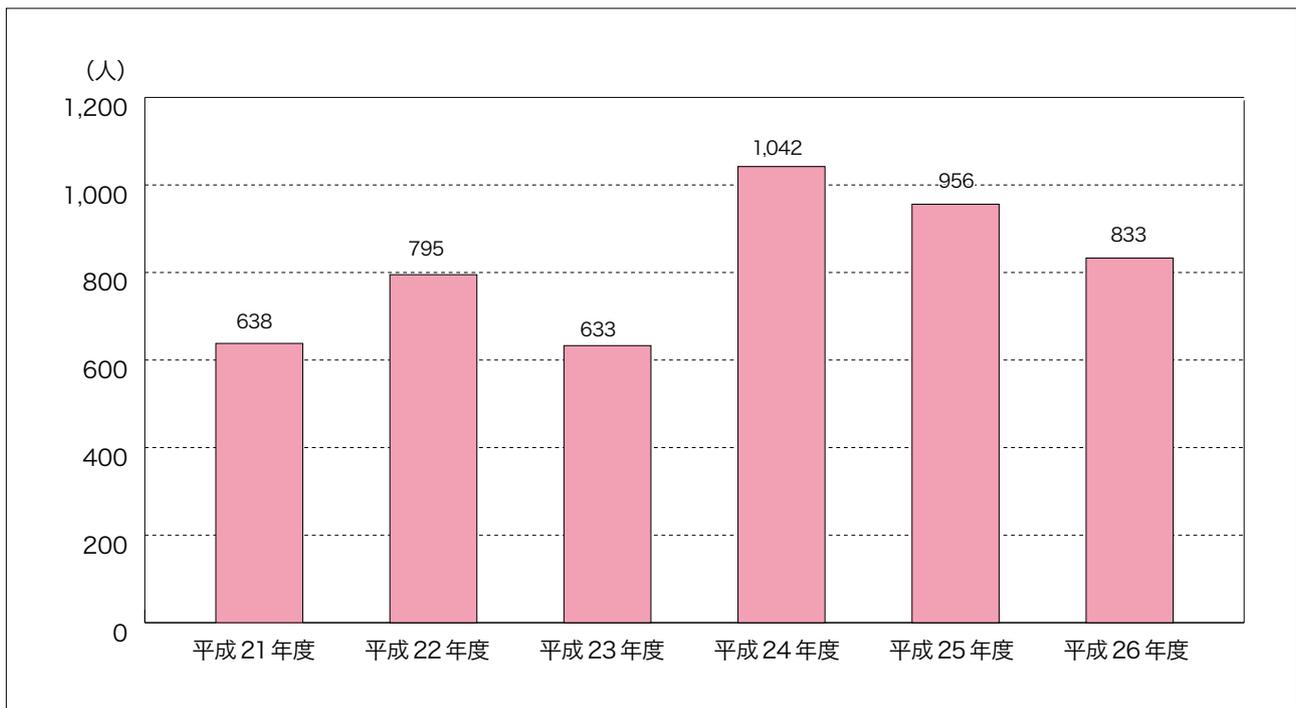
### 施策目標

地域、家庭、学校が一体となり、次世代を担う子どもたちの健全な育成と郷土愛の醸成を図ります。

### 現状と課題

- 都市化、核家族化、地域コミュニケーションの希薄化等により、家庭の教育力の低下や地域での異年齢交流の低下が指摘されるなど、地域社会全体で家庭教育をサポートし、地域で子どもを健全に育てていくことが求められます。
- 子どもの多忙化(部活動・塾・習い事)により、地域行事への参加が減少しているため、地域の教育力を活用し、郷土愛を育み、地域を知る学習の機会の提供が求められています。
- パソコン、スマートフォン等の普及による情報化社会の進展は、有益な情報とともに有害情報も氾濫し問題化しているため、子どもたちが正しい知識と活用方法を身に付けられるよう、支援が必要となります。

図表 青少年の不良行為者数（飯能警察署管内）



## 施策の展開

### (1) 郷土愛の醸成

- ・公民館事業や「ひ・まわり探検隊」などで市の歴史、文化などを知る講座を実施し、郷土愛の醸成を図ります。

### (2) 青少年の健全育成

- ・学校、地域、家庭などが連携した青少年育成のための活動を推進します。
- ・青少年の非行や犯罪を未然に防止するため、地域パトロールや啓発活動を推進します。

### (3) 地域の大人と子どもたちの交流の場づくり

- ・「放課後子ども教室」など、地域の大人と子どもたちが交流できる場を提供し、地域でのコミュニケーションを支援します。
- ・公民館事業や「ひ・まわり探検隊」などで、市民指導者やボランティアスタッフとともに、地域で子どもを育てる環境の整備を図ります。



〈区・自治会による子どもの見守り活動〉

## 成果指標

成果指標名	単位	指標の算出方法・説明又は出典	実績値	目標値 平成32年度
ひ・まわり探検隊の参加率	%	市内児童数に占めるひ・まわり探検隊参加者数の割合	19.5 (平成26年度)	20.0
刑法犯少年の人口比	人	少年人口1,000人当たりの刑法犯少年の人数(埼玉県警察 少年非行白書より)	10.6 (平成26年度)	6.0
放課後子ども教室開設校数	か所	放課後子ども教室開設校数	5 (平成26年度)	6



# 10. 生涯学習

## 施策目標

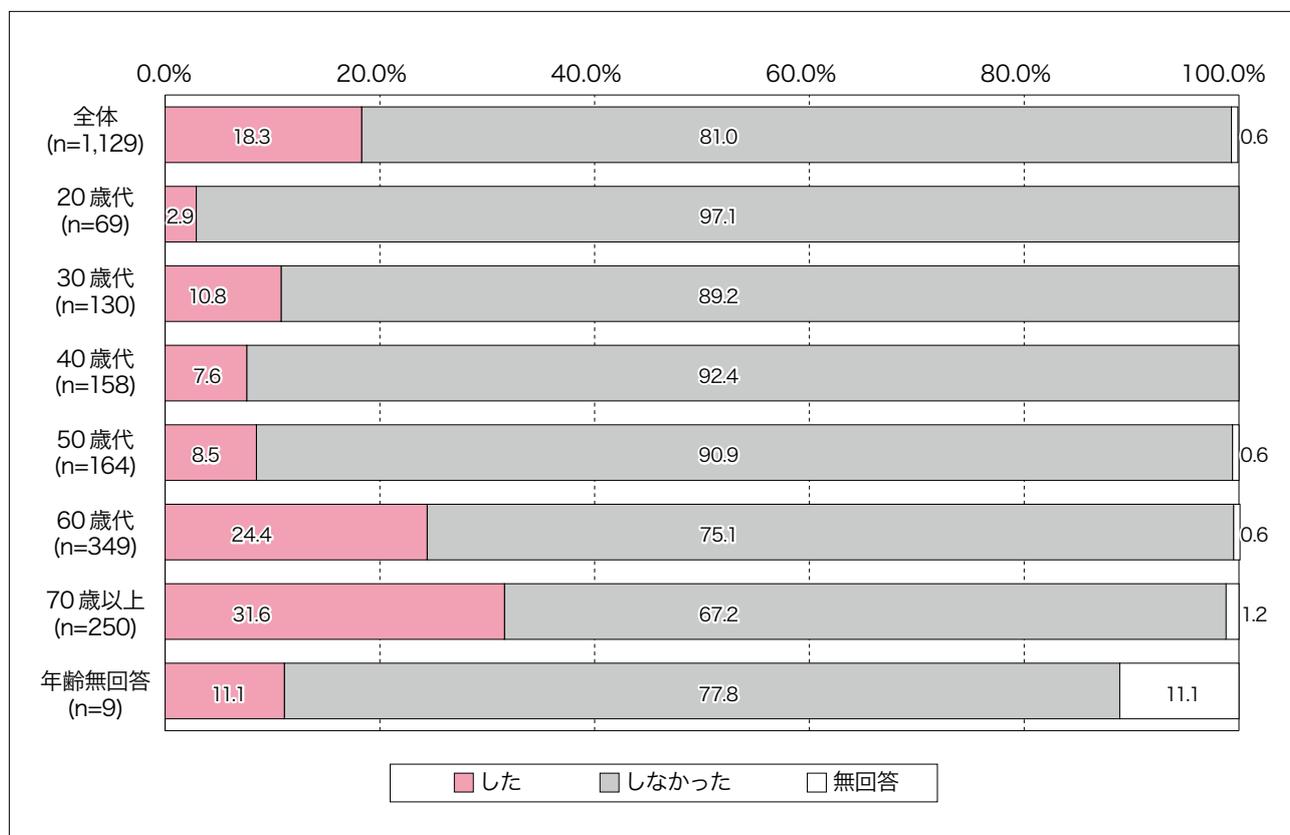
生涯を通じて自らを高め、心豊かな人生を送れるよう、市民の生涯学習活動を支援します。

## 現状と課題

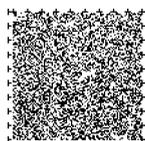
- ライフスタイルの変化により、生涯学習に対する趣味嗜好の多様化が見られるため、生涯を通じて自らを高め、心豊かな人生を送ることができるよう、公民館、社会体育施設等の身近な場所で誰もが学べる環境を整えることが必要とされます。
- 地域への愛着や帰属意識が低下し、職業やライフスタイル、人間関係や消費などのあらゆることの個人化が見られるため、家族や仲間同士で楽しめ、思い出づくりとなるイベント・行事や、地域コミュニティの創出が求められています。
- 図書館ではさまざまな学習意欲を支える図書の整備や市民との協働による各種事業を行い、生涯学習の拠点として重要な役割を果たしています。貸出図書数が減少傾向にある中、誰もが読書に親しめる環境づくりに努めていく必要があります。

図表 市民の生涯学習活動実施状況（年齢帯別）

（出典）日高市「まちづくりに関する市民意向調査結果報告書」平成27年3月



※「n」は回答者数



## 施策の展開

### (1) 生涯学習の推進

- 市民のニーズ、時代のニーズに応じた新しい事業を企画するとともに、各種講座、講演会やイベント事業を通じて、市民の生涯学習活動を支援します。
- 「日高ライブリーカレッジ」などで、現代的課題に対応したテーマを取り上げ、学ぶ機会を提供します。

### (2) 「人づくり」の支援

- 市民指導者のより一層のスキルアップを目的に、さまざまな研修会や講習会に市民指導者を派遣するとともに、「生涯学習まちづくり出前講座」などによる知識や技能の地域への還元を促進します。
- 地域の課題は地域で解決するため、「地域コーディネーター養成講座」など「人づくり」に関する講座を実施します。

### (3) スポーツ・レクリエーションの振興

- 市民がいつでも運動ができる環境を整えるため、社会体育施設の利用を推進します。
- スポーツ推進委員、市体育協会や市内スポーツ振興関係団体と協力し、市民がスポーツ競技に親しみ、健康増進ができるように、各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催します。

### (4) 読書に親しめる環境の整備

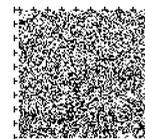
- 市民が本に親しみを持つことができるよう、文化講座やおはなし会などを開催します。
- 乳幼児から本に親しみを持つことができるよう、「布の絵本」の製作及び貸出を行います。

### (5) 図書館の整備や充実

- 多岐にわたる資料を収集することで、図書館の充実を図るとともに、市民への閲覧、貸出に供します。
- ボランティアと協働し、読書習慣の普及を推進します。

## 成果指標

成果指標名	単位	指標の算出方法・説明又は出典	実績値	目標値 平成32年度
「生涯学習まちづくり出前講座」利用回数	人	「生涯学習まちづくり出前講座」の年間延べ利用回数	46 (平成26年度)	50
スポーツ大会等参加人数	人	健康スポーツ教室や各種スポーツ大会に参加した人の年間延べ人数	4,738 (平成26年度)	6,000
市民一人当たりの貸出冊数	点	市民一人当たりの貸出冊数(視聴覚資料を除く。)	4.01 (平成26年度)	5.44
登録児童一人当たりの児童書貸出冊数	点	登録児童一人当たりの児童書貸出冊数(視聴覚資料を除く。)	21.9 (平成26年度)	37.9
図書館催事の参加率	%	各種講座、教室、映画会の募集人数に占める参加者数の割合	106 (平成26年度)	100



# 11. 人権・男女共同参画

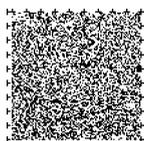
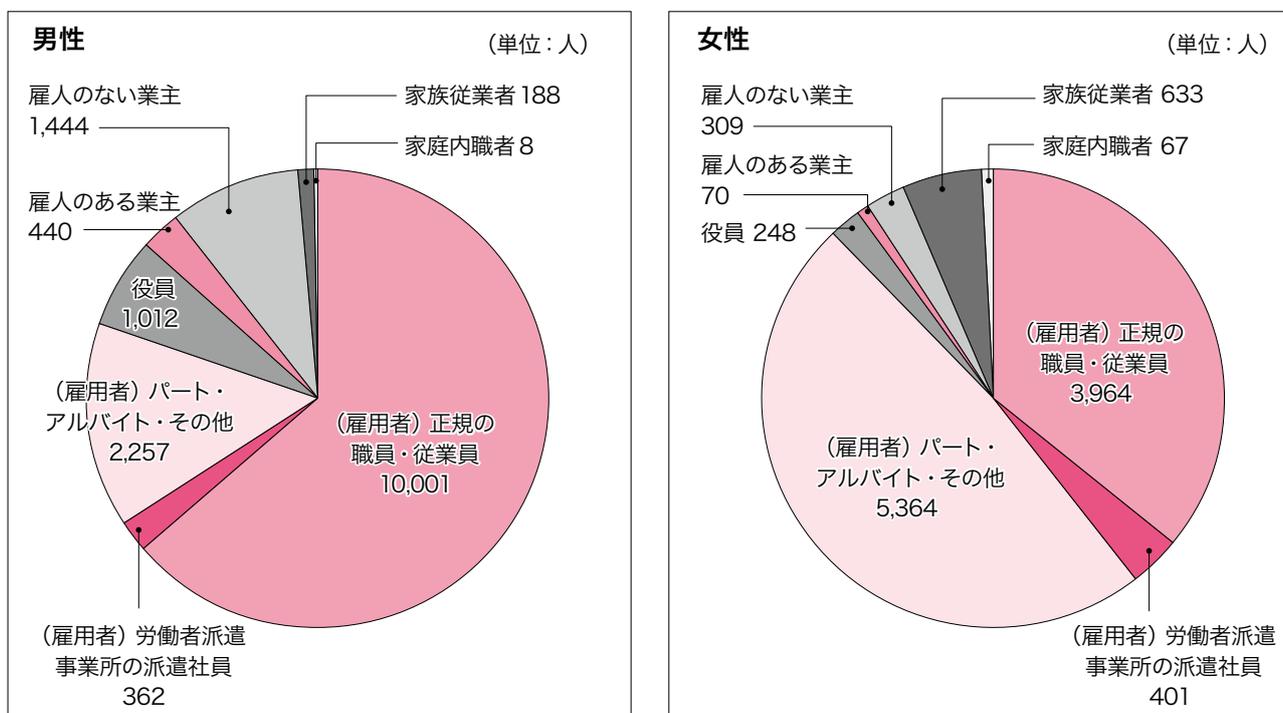
## 施策目標

人権について、正しい理解と認識を深めるとともに、男女があらゆる分野で参画できる社会の実現に努めます。

## 現状と課題

- 子どもや高齢者への虐待、インターネットを悪用した人権侵害や肉体的、精神的な差別などの人権課題は複雑化・多様化しています。また、子どものいじめの深刻化や配偶者などからの暴力は近年増加傾向にあり、人権侵害の一つとなっています。
- さまざまな人権課題の解決に向け、市民一人一人の人権尊重意識の高揚のための啓発や相談体制の充実を図っていくことが必要とされます。
- 平成11年に男女共同参画社会基本法が制定され、多くの市町村において男女共同参画社会の実現に向けたプランの策定や施策の展開を図っている一方、男女の固定的役割分担意識は根強く残っています。そのため、性別に関わりなく、社会の対等な構成員として、個性や能力を十分に発揮できる社会を実現するためには、更なる意識啓発が必要となります。
- 女性の社会進出が増えるにつれ、より一層、男女が協力する社会の実現が求められ、仕事と家庭の両立によるワーク・ライフ・バランスの推進も課題となり、家庭だけではなく、社会全体で支えていく体制づくりが必要となります。

図表 本市の男女別従業上の地位区分別の割合  
(出典) 総務省「平成22年国勢調査」



## 施策の展開

### (1) 人権啓発の推進

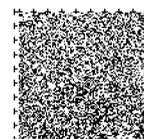
- 市民一人一人が人権について正しく理解し、お互いを尊重しながら共生できる社会を実現するとともに、正しい人権感覚を身に付けるため、同和問題をはじめ家庭内暴力、いじめ、児童・高齢者・障がい者虐待や肉体的、精神的な差別などのさまざまな人権課題の解決に向け取り組むとともに、多様な性のあり方に関する理解を深めるよう家庭、学校、社会教育などの機会を活用し、人権教育、啓発を推進します。
- 配偶者等からの暴力（DV）についての正しい知識の普及に努めるとともに、被害者が安心して相談できる体制づくりを行います。また、関係団体との連携を強化することにより、被害者の保護や自立支援を行います。

### (2) 男女共同参画を推進する社会の形成

- 男女共同参画プランに基づき、男女共同参画の意識啓発を図るとともに、女性の積極的な登用を行うなど、女性の社会参画を推進します。そして、男性も女性も全ての人が性別に関わりなく、平等にその個性と能力を発揮できるよう支援します。

## 成果指標

成果指標名	単位	指標の算出方法・説明又は出典	実績値	目標値 平成32年度
人権講演会などへの参加者数	人	人権研修・学習・講演会への年間延べ参加者数	1,129 (平成26年度)	1,400
審議会などにおける女性委員の割合	%	審議会などの女性登用率庁内調査	33.8 (平成26年度)	40



## 12. 多文化共生

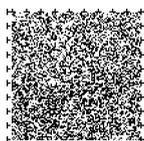
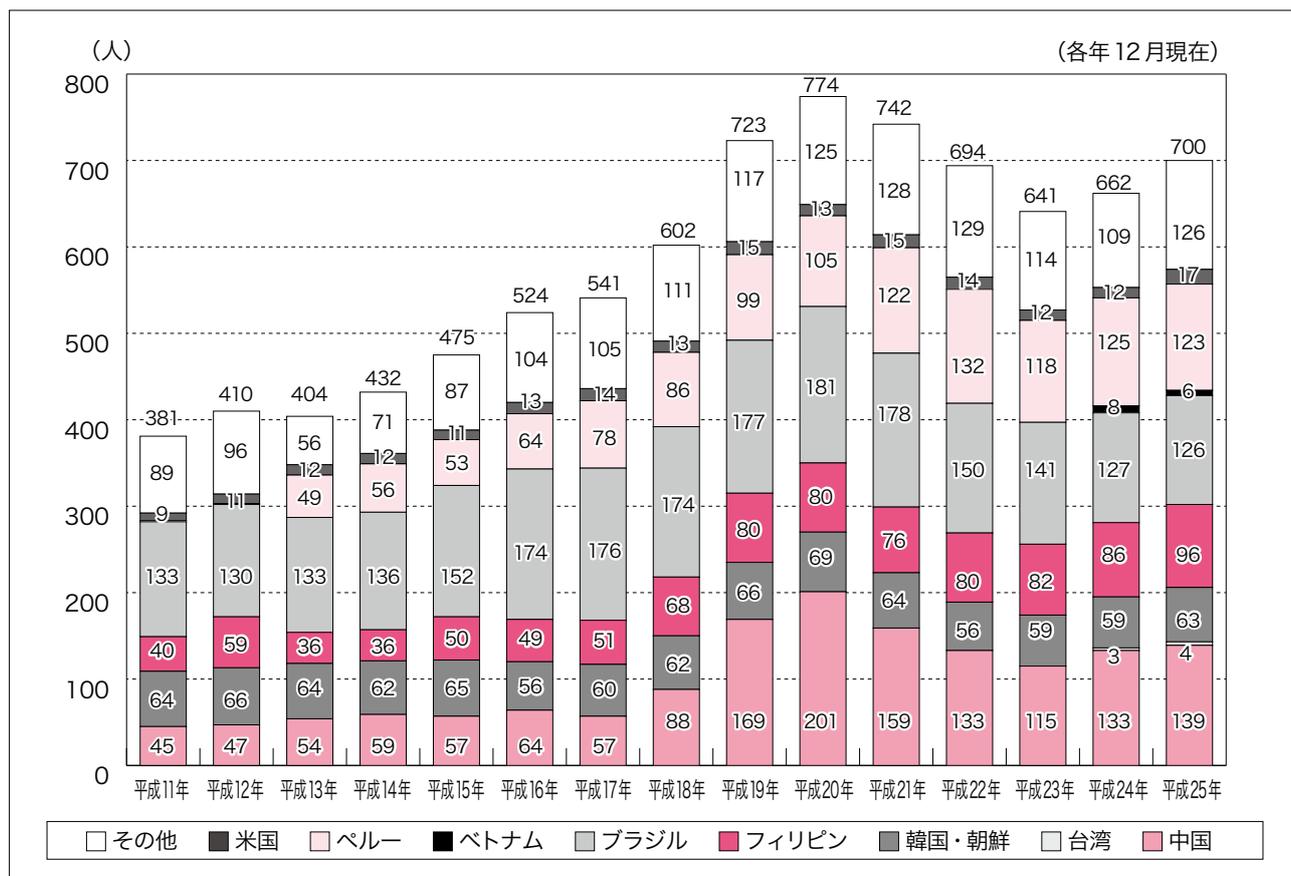
### 施策目標

国際理解を深める機会を提供するとともに、外国籍市民の人にも暮らしやすい環境をつくります。

### 現状と課題

- 近年、身近な生活でもさまざまな地域の文化や言語に触れる機会が増えており、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、今後ますます国際化が進展していくと推測されます。
- 外国籍市民の中には、日本語が理解できないために必要な情報が得られなかったり、文化や生活習慣の違いにより、地域になじめなかったりして、孤立してしまうおそれもあるため、外国籍市民が地域社会の構成員として自立できるよう、市民とともに地域づくりを進めていくことが必要とされます。
- 豊かな歴史や文化などの特色を生かし、異なる文化や生活習慣を持つ人との相互の交流や学習の機会の提供によって国際理解を深めていくことが求められています。

図表 本市の外国人人口の地域別内訳  
(出典) 法務省「在留外国人統計」(平成24年12月末現在)



## 施策の展開

### (1) 国際交流活動の支援

- 国際感覚を養うとともに異文化理解を深め、国際的な視野を持つ人材を育成し、市民レベルでの国際交流の機会を提供するため、友好都市大韓民国烏山市との文化、スポーツなど幅広い分野における交流を推進します。

### (2) 外国人にやさしいまちづくりの推進

- 外国籍市民にやさしい魅力あるまちづくりに取り組むため、国際交流協会と連携した日本語教室やイベントの開催、多言語での生活情報の提供などを推進します。



〈友好都市大韓民国烏山市との  
スポーツ交流事業〉



〈国際交流協会による日本語教室〉

## 成果指標

成果指標名	単位	指標の算出方法・説明又は出典	実績値	目標値 平成32年度
通訳・翻訳ボランティア活動回数	回	市に登録している通訳・翻訳ボランティアの年間活動回数	9 (平成26年度)	10
日本語教室参加者数(年間延べ人数)	人	日本語教室への年間延べ参加者数(国際交流協会総会資料)	439 (平成26年度)	450

